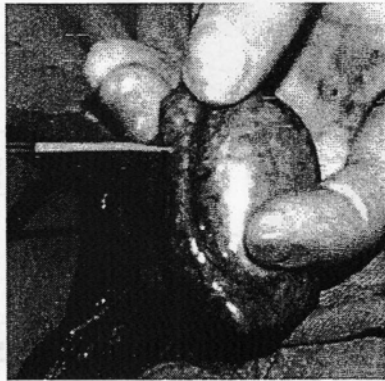
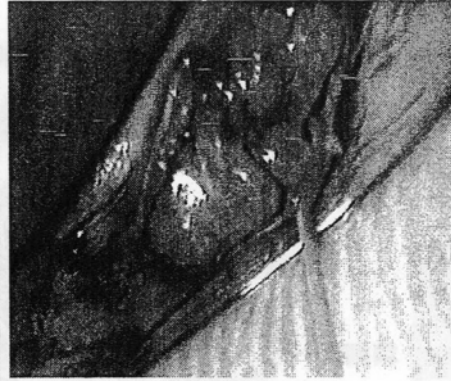


精巢上体精子吸引術

MESA : Microscopic epididymal sperm aspiration



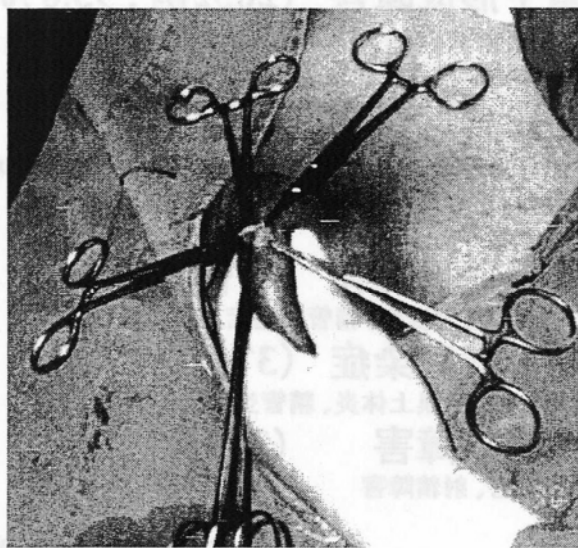
直視下



顕微鏡下

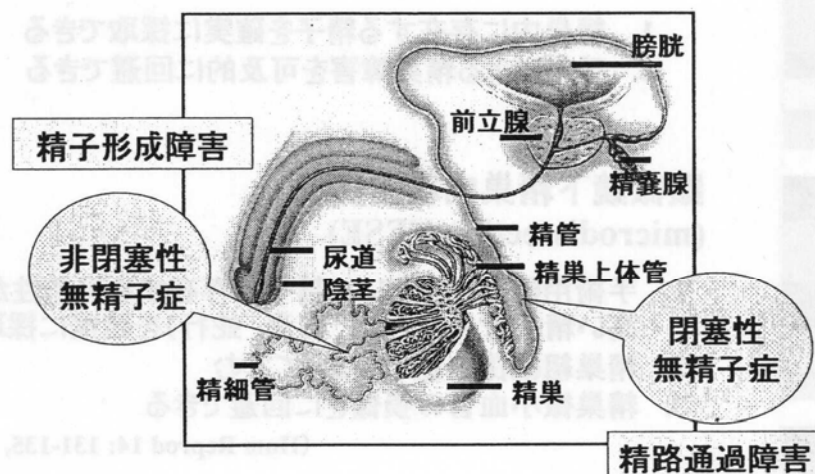
精巢内精子採取術

TESE: Testicular sperm extraction



無精子症治療の実際

精子が獲得されなければ顕微授精の適応もなし



生殖補助医療研究で ヒト精子を取り扱う研究 臨床研究

仮に非閉塞性無精子症であってもTESEで精子さえ採取可能であれば、ICSIで挙児を得る可能性あり

ICSIの成績を上げる研究は産婦人科が中心

泌尿器科的には

非閉塞性無精子症患者の精巣から効率よく精子を確保するための工夫、研究がなされている

精巣内精子採取術(TESE)の変遷

理想的なTESE

1. 精巣内に存在する精子を確実に採取できる
2. 手術による精巣障害を可及的に回避できる

顕微鏡下精巣内精子採取 (microdissection TESE)

1. 手術用顕微鏡を用いて精子の存在する可能性が高い精細管のみ(太く、白濁、蛇行)を確実に採取
2. 精巣組織採取量が少なくてすむ
3. 精巣微小血管の損傷を回避できる

(Hum Reprod 14: 131-135, 1999)

Microdissection TESE 術式(1)

